



# みどりの里だより

第6号

発行：2020年11月

## 施設長あいさつ



本年9月1日に予定通り済生会みどりの里の初日を迎えることができました。全ての関係者の皆様に感謝致します。特に今年3月からのコロナ禍のなか、計画通りに建築工事を進めて下さった久米設計、そして熊谷・阿部・西條共同企業体の皆様、本当に有難うございました。また、済生会小樽病院の皆様にもいろいろ助けていただきました。お陰で8月末日に全入所者様を一気に、そして無事に移送することができました。

さて、済生会西小樽病院の前身であります国立療養所小樽病院に障害児病棟が開設されたのは昭和46年と伺っております。それから半世紀を経て、長橋3丁目の丘からここ築港地区に降りてまいりました。長橋の建物には長い間ご苦労様でしたと一声掛けてあげたい気持ちです。

新施設では小樽病院の皆様との協働を基本とし、本来の重症児の診療と療育は元より、小樽・後志地区のニーズに応え小児の発達障害の医療にも尽力してまいります。また、この築港地区は“医療と福祉を中心としたまちづくり”を目指していると伺っております。それにも積極的に参画できればと考えております。これからも皆様のご支援・ご指導を宜しくお願い致します。

施設長 堤 裕幸



▲ 新施設外観



▲ 1階 受付



## みどりの里の理念

私たちは一人ひとりの命の輝きを見つめ、  
安全で心のこもった療育の提供に努めます。

# 新築移転特集！

みどりの里の新しい施設が小樽市築港地区にオープンしました。国が進める障がい施策では、「施設福祉」から「地域福祉」へと進んでいますが、みどりの里においてもこれまでの「郊外型」から地域中心部に近い「近郊型」の施設としてあらたにスタートします。

これからの重症心身障害施設では、利用者を守る（保護）という機能を維持しながらも、施設生活のみで完結するのではなく、社会とのつながりを持ち、多様な生活の選択肢を得られること、つまり「社会生活」が重要となります。これを実現するために必要な地域との相互関係づくりや施設周辺環境の整備、これら施設外支援を活用した個別支援を行っていくことが北海道済生会そして施設職員の使命と考えています。

新施設開設にあたり、当施設では理念と基本方針を見直しました。これらに掲げた施設姿勢やサービスの提供価値を追求し、利用者の「社会生活」を促進してまいります。

副施設長 櫛引久丸

## 理念

私たちは一人ひとりの命の輝きを見つめ、安全で心のこもった療育の提供に努めます。

## 行動指針

- 済生会としての責任と誇りをもって、地域社会のニーズに応えます。
- 多職種連携を推進し、利用者を中心とした良質な療育の提供に努めます。
- 職員の倫理観と専門性を高め、優れた人材を育成します。
- 働き甲斐のある職場づくりと健全経営に努めます。



## みどりの里父母の会会長 大原廣様より

9月1日新築移転した済生会小樽病院施設「みどりの里」オープニングセレモニーに父母の会代表として参列させて頂きました。

オープンまでに職員の皆様が子供たちへの並ならぬ気配りのお蔭で全員無事に移動する事が出来ました事に心から感謝申し上げます。

自然に囲まれた静かな環境から一変して都会に引越した感じで病棟や周囲の状況の変化に加わり、親や家族にも会えず不安な日を過ごした子供たちにもお疲れ様と言ってあげたいと思います。

新型コロナウイルス感染防止のため長期間の病棟閉鎖や面会制限等が続き、オープン後やっと9月7日から面会が許され、子供たちも親や家族に会って安心し、落ち着いて来た様に感じます。生活空間が広がった事で職員の目が行き届かない事もあると思いますが、子供たちが各部屋に居る時には目配り、気配りを心掛け子供たちの不安を取り除いて安心させて頂ける様、お願いしたいと思います。また親の立場としては、面会を重ね子供たちと十分なスキンシップをして、精神状態を安定させる事が大事だと感じました。

新しくなった施設で医療、療育、教育など安心した生活が送れる様に、日々子供たちを優しく見守って下さる職員の皆様に保護者として心から感謝申し上げます。

## ご寄付・ご寄贈の御礼

新築移転に際しまして多大なるご寄付・ご寄贈を頂き、誠にありがとうございます。

- 城守様
- 津川敏様
- 中村由紀恵様
- 猪狩喜代子様

# 新しくなった **みどりの里** をご紹介！

## ひかりのフロア(A病棟)

イメージカラー：橙色

灯り

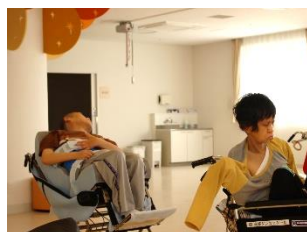
暖かさ

温もり

橙色は太陽や炎を象徴し、迷ったり悩んだりした時に導いてくれる「灯り」を意味します。明るく照らす太陽や炎の周りに人が集まるような、暖かさや温もりを感じられる病棟でありたいという願いを込めて、「ひかり」のフロアとしました。



▲ デイルーム



▲ デイルーム



▲ 居室 (302)



▲ 居室 (317)

## きずなのフロア(B病棟)

イメージカラー：桜色

愛

思いやり

和

桜色は人を和ませ、優しい気持ちにさせる「愛」や「思いやり」を象徴しており、人や自然との絆を深め、つながりを広げる「和」を意味します。思いやりの心を持ち、和を大切にする病棟でありたいという願いを込めて、「きずな」のフロアとしました。



▲ デイルーム



▲ デイルーム



▲ 居室 (402)



▲ 居室 (412)

## つばさのフロア(C病棟)

イメージカラー：青色

信頼

誠実

母性愛

青色は「信頼」「誠実」「母性愛」を象徴し、空・海・母といった生命の源である大きな存在を連想する色として、心身を落ち着かせる力を秘めています。幸せを運ぶ「青い鳥」のように羽ばたいてほしいという想いや、大きな翼で一人一人を守る信頼される病棟でありたいという願いを込めて、「つばさ」のフロアとしました。



▲ デイルーム



▲ デイルーム



▲ 居室 (501)



▲ 廊下からの景色

# イベント紹介

2020年3月～2020年9月

新型コロナウイルス感染症の流行によりさまざまな制限があり、例年と同じ形での行事实施が難しい期間でした。それでも「STAY みどりの里」を楽しめるように、「密」を避けるなど感染防止に努めながらイベントを行ってきました。写真とともに活動の様子をご紹介します！

## 劇団みどり公演「オズの魔法使い」

3/17

2019年度劇団みどり後期公演、演目は“オズの魔法使い”。今回、みどりの里オリジナルバージョンにアレンジして演じました。劇団員はそれぞれの役に扮し、持ち前の動きや発声を活かして立派に役を演じる事が出来ました。カーテンコールでは感極まり涙する劇団員もいたほどです。旧施設での最後の定期公演ということもあり、気迫のこもった素敵な劇になったと思います。

これからは新施設の素敵なステージでの練習・公演が待っています。一層“魅せる”劇を目指して、団員・スタッフ一同頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願ひします！



## 入学・進級を祝う会

4/14・21・22

4月14日、21日、22日の3日間、それぞれの病棟にてお祝いの場が設けられました。桜をイメージされた装飾や紅白幕によって病棟内の雰囲気もガラリと変わり、フラワーシャワーで利用者さんを祝福すると、とても素敵な笑顔をしていらっしゃいました。中には少し緊張されている利用者さんもいらっしゃいましたが、みんなで歌をうたって手を叩き、ケーキを美味しく食べることで、緊張もほぐれていたように見受けられました。花束贈呈の場面では、とても素敵なお花が利用者さんに贈られ、先生方からお祝いの言葉もあり、とても貴重な時間を共有させていただきました。例年とは違う会場でのお祝いとなりましたが、それぞれの病棟でとても素敵なお祝いになったと思います。入学・進級された利用者さん、おめでとうございます！



5月は毎年恒例の春のお楽しみ会です。今回は事情によりバイキング形式ではなく、中央配膳によるプレート提供という形に変更となりました。食器や春を感じる飾り、盛り付け等に工夫が凝らされていて、利用者さんがそれを目にすると、表情が明るくなっていたように感じました。食後は歌をうたったり、音楽を流してゆったりとされたり、暖かくなってきた春を感じさせる雰囲気病棟全体に溢れていて、利用者さんがリラックスしているところが見られてとても良かったです。木が描かれた絵に紙を貼りつけた作品を職員と一緒に一生懸命作成している姿は、とても素敵で素晴らしく思いました。



## リハビリテーション大運動会

7/30・31

当施設の夏の恒例企画！リハビリテーション大運動会が今年も開催されました。日々のリハビリテーションの成果を披露し、汗を流すこの行事、多くの方々の協力もあり無事開催することができました。

運動会の目玉・徒競走では、「歩行」「車椅子」「SRCウォーカー（歩行補助具）」「寝返り」の各部門に分かれて熱戦を繰り広げました。集団対抗競技では、「カーリング」を傾斜台を用いて工夫して楽しみました。

最後は「車椅子ダンス」で楽しく仲良く締めくくり。皆さん日頃の努力の成果を存分に発揮したり、緊張のあまり発揮しきれなかったりと、楽しく参加することができたと思います。

来年も新会場での開催を計画しています。お楽しみに！



## 参加型アート制作



各フロアの壁がとても素敵なアート作品で彩られています。これは事前に各フロアのイメージカラーに沿って利用者さんが色塗りをしたものが、素敵にアレンジされてアート作品になったものです。

利用者さんは、イメージカラーに合わせた5色の絵具を、「塗る」「振る」「ひっぱる」「叩く」など、それぞれの得意な力を生かして紙に塗りました。スタッフと活動を共有し、じっくりと楽しみながら色塗りができたようです。

完成した作品はステンレス板に転写され、テーマ内容に沿った形状になりました。いかがでしょう？生活空間を彩る作品を自分たちで作ることで、良い思い出にもなったと思います。作品を見ながら利用者さんと話してみてくださいね。

# レクリエーション活動2020

## in みどりの里

ひとりひとりの個性や好きなことに合った楽しみ方ができるように、今年度は6種類の施設内レクリエーションを企画しました！

### 1 カラオケ & ランチ

当日はドアやテーブル、いす、マイク、リモコンなどを念入りに消毒し準備OK。利用者さんたちは自動販売機で自分でジュースを選び会場に入ります。他病棟の利用者さんと自己紹介をしてランチ開始。テイクアウトのハンバーグ、海鮮丼、お寿司などを笑顔でおいしいと言ってパクパクと召し上がっていました。ひと休みをした後はカラオケです！いつもと違う広い場所、大きい音の中でニコニコとはりきって歌い、時には頭を振って踊っていました。歌が得意な利用者さん2名のショータイムもあり、他の利用者さんたちも笑ったり手を叩いたりして喜ばれていました。はりきり過ぎたのか喉が渇きジュースをぐくぐく。その姿に私たち職員も楽しく癒されました。



### 2 オルゴールづくり

オルゴールキットや音楽は、事前に利用者さんの好きなものを選んでいただきました。製作では、台にオルゴールを取り付け、その上に牛やアヒルなどの人形を配置します。かわいらしい人形を見つめたり、声を出して笑ったり、嵐やドラえもんなど好きな曲を聴いて、にこやかな表情をされていました。製作は順調に進み、木のぬくもりのあるかわいいオルゴールを作ることができました。



### 3 ゲーム大会

病棟対抗のゲーム大会、種目は「釣り」「サイコロボウリング」「玉入れ」「借り物ゲーム」の4種類。白熱した戦いが繰り広げられました。ヨーヨー釣りで3個同時に釣れたり、サイコロが何回振っても1ばっかりだったり、さまざまな名場面がありました。3日間の日程で行い、1日目の優勝は3病棟、2日目は1病棟、3日目は2病棟と、偶然にも各病棟1回ずつの勝利を飾りました。各日ともとても盛り上がり、参加したみなさんで楽しむことができました！



## 4 縁日 & 足湯

多くの参加希望があり、4日間に分けて開催しました。縁日では「わたあめ」「コットンキャンディソーダ」「かき氷」「くじ」「釣りゲーム」、足湯ではさまざまな「日本の名湯」を堪能していただきました。

中でも「コットンキャンディソーダ」は、飲んでもおいしい、見てもキレイと評判のコーナーになり、不思議なソーダを目で見て、飲んで、楽しそうに手を叩いて喜んでいる利用者さんの姿がとても印象的でした。

参加された利用者さんや付き添いの職員から「面白かった」「ゆっくりできて良かった」などの言葉もいただきました。



コットンキャンディソーダは写真映えも抜群



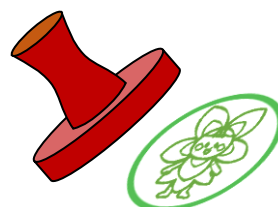
## 5 買い物 & ビンゴ大会

買い物レクはいつものバスレクでも人気が高く、ウイングベイや発寒イオンなどに行きショッピングや外食を楽しんでいただいています。今回はタブレットを使って、インターネット通販で買い物をしました。レク当日は届いた商品をお渡しして、その後は「サーティワンアイス」を食べて一休み。そして、最後は自由参加のビンゴ大会も行いました。見事ビンゴになった利用者さんは豪華景品を手にし、楽しい時間を過ごすことができました。



## 6 スタンプラリー(予定)

11月から12月初めまでの4日間で開催する予定です！



## 新施設へのアクセス



### 見学随時受付中！

見学をご希望される方は下記よりご連絡ください。

みどりの里ホームページ  
「お問い合わせ」フォーム



QRコードを読み取ると  
お問い合わせページに  
アクセスできます



## ご協力ありがとうございます

2020年4月～2020年9月

企業・団体名	内容
株式会社 KCC 様	コロナ禍により困難な時期に励ましの品を頂きました
有楽製菓株式会社 様	
鮫島有美子音楽事務所 様	
アイスクリーム協会 様	アイスクリームのご寄贈

## 2020年度後半の行事予定

内容	日付
秋祭り	10月28日(水)～30日(金)
クリスマス会	ひかり：12月10日(木) / きずな：12月17日(木) / つばさ：12月15日(火)
松前神楽鑑賞会	1月13日(水)
新成人を祝う会	1月予定
節分	2月3日(水)
ひなまつり	3月3日(水)

※日程は変更になる場合があります。

発行 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部北海道済生会小樽病院  
重症心身障がい児(者)施設 みどりの里  
〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号  
TEL：0134-32-5131 FAX：0134-29-2164

